

平成16年度決算における 新市建設計画・総合計画の実施状況と 合併効果の概要についてお知らせします

新市建設計画および総合計画の実施状況

新市建設計画は、合併前に設立された法定の協議会である「田無市・保谷市合併協議会」によって策定され、平成13年度から22年度までの10か年を計画期間とするもので、平成16年度末で4年が経過しました。

この新市建設計画に掲げられた53の事業のうち、平成16年度末までに46の事業について実施済あるいは実施に向けて一部着手しており、4年間の事業費総額は約248億円です。(なお、平成15年度に新市建設

計画を変更し、15事業を追加しました。)

また、平成16年度からは本市で初めての総合計画がスタートしました。この総合計画は平成16年度から25年度までの10か年を計画期間として、新市建設計画を包含するとともに、新たな市民ニーズを取り入れて策定されたもので、平成16年度実施計画ベースの事業費総額は約79億円です。なお、平成16年度における総合計画事業の主な実施状況は下図のとおりです。

平成16年度の合併効果の状況

合併による経費削減効果

本市は、合併という究極の行財政改革を実現し、スリムで効率的な行財政運営に努めています。合併年度である平成12年度決算と平成16年度決算を比較すると、一般職・特別職の職員人件費、市議会議員の報酬、消防事務事業(東京都へ委託)など約13億3千万円の経費を削減

しました。

合併に伴う財政支援の状況

平成16年度における国からの財政支援としては、普通交付税の合併算定替による影響額として約13億円、合併特例債の活用として約20億3千万円などがあります。

総合計画の推進に向けて

合併による経費削減効果や国・東京都からの財政支援を活用し、新市建設計画および総合計画の着実な推進を図ってきました。しかしながら、国や東京都からの時限的な財政支援は順次終了する一方、三位一体の改革による影響など、本市を取り巻く財政環境は厳しさを増し

ています。

今後総合計画の推進にあたっては、平成17年度策定した地域経営戦略プラン(第2次行財政改革大綱)の積極的な推進を図ることなどにより、財政基盤の強化や財源の捻出に最大限努力する必要があります。

企画課(田無内線1121)



西東京いこいの森公園(プレイゾーン・噴水)

小学校体育館大規模改造事業
保谷第二小学校、中原小学校、栄小学校 (1億7,939万円)

青嵐中学校校舎等建替事業
老朽化した校舎等の建替えに向けて、平成16年度は実施設計、用地買収を行いました。(3億574万円)

西東京いこいの森公園の整備
築造工事が完了し、平成17年4月29日に開園しました。(4億9,685万円)

コミュニティバス(はなバス)の運行
新たにひばりヶ丘駅南口と保谷庁舎を結ぶ第5ルートの運行を開始しました。(1億5,182万円)

認知症高齢者グループホームの整備(1箇所)
(5,258万円)

地域情報化の推進

情報通信技術を活用し、公共施設予約システム、図書検索・予約システム、ホームページの充実等を進めています。平成16年度は新たに芝久保公民館に住民票等自動交付機の整備などを行いました。(6億6,807万円)

防災行政無線(同報系)の整備

災害時における情報通信網の充実を図るため、同報系無線の統一を図るとともに、デジタル回線への切り替えを行いました。(2億2,638万円)

消防団詰所の整備(第3分団、第7分団)
(7,469万円)

中学校校舎等耐震補強事業
田無第二中学校、田無第三中学校 (1億1,016万円)

芝久保保育園大規模改修工事
(1億659万円)



都市計画道路西3・4・15号線が接続する保谷駅北口

都市計画道路の整備(西3・4・15号線(旧保3・4・12号線))
平成16年度は西3・4・13号線との交差点部分の築造工事を行いました。(1億5,124万円)

保谷駅南口地区市街地再開発事業の推進(特別会計繰出金)
平成16年度は事業実施に向けて特別会計を設置するとともに事業計画決定など、具体的な取り組みを進めました。(2億4,595万円)

～やさしさとふれあいのまち 西東京～

豊かな学び・文化が息づくために!
(仮称)西東京市体育館建替事業
合併に伴う財政支援を活用し事業を推進しています!!

つつじ ひまわり コスモス すいせん

西東京市は市民のみならずスポーツ・レクリエーションに親しめる機会・場所づくりをめざします。



平成18年5月オープンに向けて建設が進む(仮称)西東京市体育館

(仮称)西東京市体育館(西東京市南町スポーツ・文化交流センター)の建替え
平成16年度は解体工事を行うとともに建設工事に着手しました。(3億6,559万円)

ひばりヶ丘駅・西武柳沢駅バリアフリー化事業
エレベーターやエスカレーターを設置し、円滑な移動が可能となりました。(6億112万円)



キャッチフレーズを描いた直売所ののぼり

市民に身近な生産加工流通体制づくり
市内産農産物の普及に向けて、キャッチフレーズとキャラクターを市民公募により決定しました (105万円)